

# 北部方面隊 新年度を新体制で始動



第779号  
令和4年4月21日

### 要望事項

- 「真に戦える実効性ある部隊の創造」
- 「地域等との連携」
- 「人間力の強化」

発行：北部方面総監部広報室



北部方面総監に対し編成完結報告を行う第2師団長

## 第2師団 機動師団へ編成完結

### 部隊新改編により、即応能力を向上

北部方面隊(総監 沖 邑陸将)は、3月26日、旭川駐屯地において、中期防衛力整備計画に基づき、機動師団へ改編された第2師団(師団長 富樫陸将)の編成完結式を実施した。

この度の改編により、名寄市に所在する第3普通科連隊が第3即応機動連隊となり、輸送機による運搬ができる16式機動戦闘車(MCV)等が配備される等、全国の事態や災害に迅速に対処することが可能となり、また、部隊行動に

必要な情報収集を担う第2情報隊(旭川)が新編され、運用の実効性が向上した。

編成完結式では、岩本防衛大臣政務官から第3即応機動連隊長(山崎 1佐)へ連隊旗が授与され、その後、沖邑総監及び富樫師団長による訓示が行われた。

17日には、第2師団の編成完結式に先立ち、名寄駐屯地において第3即応機動連隊の改編行事が実施され、編成完結式、中隊旗の授与、観閲行進などが行われた。



連隊旗の授与



編成完結した第3即応機動連隊



隊旗授与 (第2情報隊)



観閲行進 (第3即応機動連隊)



看板設置 (第2情報隊)



看板披露 (第3即応機動連隊)

## 第17次派遣海賊対処行動支援隊

### 3か月経過、確実に任務遂行中

アフリカ東部のジブチ共和国において、第17次派遣海賊対処行動支援隊の主力として派遣されている第11旅団の隊員が、活動拠点の

警備・基盤維持等の任務に就いて3か月が経過した。

派遣隊員は施設等の巡察及び多様な状況をはじめとした各種訓練を実施して、引き続き活動拠点の安全確保に貢献していく。



射撃訓練



捜査訓練



捜査訓練



### 第7師団及び第5旅団訓練検閲

#### 積雪寒冷を克服し、任務を完遂

第7師団(師団長 中村陸将)は、2月25日から3月4日までの間、東千歳駐屯地、北海道大演習場等において、令和3年度第3次師団訓練検閲を実施した。

本検閲では、第7高射特科連隊に対し、師団の攻撃行動における高射特科連隊の行動として、前段に実動による戦術行動及び小火器射撃を、後段に指揮所訓練統裁システム(ICE)を活用した師団指揮所訓練を行った。

また、第5旅団(旅団長 鳥海陸将補)は、2月24日から3月3日までの間、然別演習場等において、令和3年度第4次旅団訓練検閲を実施した。

本検閲では、第27普通科連隊に対し積雪寒冷地において独自の陣地防御する増強普通科連隊の行動を、第5偵察隊に対し積雪寒冷地において偵察行動を行う旅団偵察隊の行動を、第5飛行隊に対し積雪寒冷地において主に独立的に陣地防御する増強普通科連隊を支援する旅団飛行隊の行動についてそれぞれ検閲した。

各部隊はあらゆる気象、状況の変化に速やかに対応し、与えられた任務を完遂した。



偵察のためUH-1で軽雪上車を空輸(第5飛行隊)



隊容検査(負傷者救護)(第7高射特科連隊)



普通科と機甲科による戦闘(第27普通科連隊)



夜間行進する87式自走高射機関砲(第7高射特科連隊)



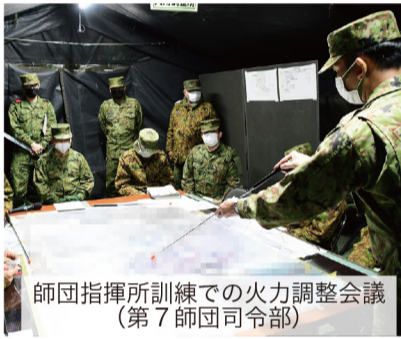
指揮所の開設(第27普通科連隊)



01式軽対戦車誘導弾による対機甲戦闘(第27普通科連隊)



偵察へ前進する軽雪上車(第5偵察隊)



師団指揮所訓練での火力調整会議(第7師団司令部)

### 対空実射訓練

#### 12個部隊が参加、方面隊の対空戦闘能力を向上

方面隊は、2月20日から4月15日までの間、静内対空射場(新ひだか町)において令和3年度第2次対空実射訓練を実施した。

訓練は、各師団、各旅団及び第1高射特科団が担任し、第1特科団、第3施設団、北部方面混成団、北部方面航空隊、北部方面後方支援隊、北部方面対舟艇対戦車隊及び北部方面情報隊が参加して、87式自走高射機関砲及び12.7mm重機関砲の実射訓練をそれぞれ行った。

12.7mm重機関砲の射撃においては、事前にシミュレーターを使用した追従射撃を演練し、射撃予習を徹底する等、万全の状態での訓練に臨み、標的機に向け実弾射撃を行い、所望の訓練成果を収めた。

なお、本訓練間、各種



偽装網下での実戦的な対空射撃



化学防護車からの12.7mm重機関銃射撃



10式戦車からの12.7mm重機関銃射撃



87式自走高射機関砲の射撃

### 第11旅団砲迫射撃競技会

#### 実際の戦闘行動を基準に 精度・速度を競う

第11旅団(旅団長 宮本陸将補)は、2月24日から3月3日までの間、北海道大演習場島松地区において、令和3年度迫撃砲射撃競技会を実施した。

競技会は、81mm迫撃砲の部及び120mm迫撃砲の部が行われ、陣地進入、射撃等の精度・速度を競った。

各部隊は、競技会で得た成果をさらに研究し、実際の戦闘行動を意識するとともに、精度の高い射撃を追求し、技術の錬磨、ノウハウの継承に努め、旅団の火力発揮に最大限寄与できる部隊を目指して練成を継続する。



射撃(120mm迫撃砲)



射撃諸元の算定



射撃(81mm迫撃砲)



射撃準備(81mm迫撃砲)



### 一般陸曹候補生前期及び自衛官候補生課程教育入隊式

#### 約700名が入隊、声高らかに宣誓

方面隊は、4月3日から10日にかけて、管内7つの駐屯地において、一般陸曹候補生及び自衛官候補生課程教育の入隊式を実施した。



入場行進 (一般陸曹候補生女子)



辞令書交付 (一般陸曹候補生男子)

入隊者は、3月下旬以降、道内をはじめ日本全国から各教育担任部隊に着隊し、教官等の指導の下、入隊式に備えて制服の準備、敬礼や行進等の基本教練を体得して、入隊式に臨んだ。

式では、新型コロナウイルス感染症防止措置を取る中、初々しくも堂々たる行進や基本教練を披露するとともに、声高らかに宣誓し、陸上自衛官としての第一歩を踏み出した。

今後、約3か月にわたる、自衛官として必要な基本的教育を受け、その後、各職種部隊で、更に約3か月にわたり、各種の基本的な教育を受けた後、各中隊等に配置され、第一線で活躍する陸上自衛官となる。



力強く敬礼 (自衛官候補生女子)



声高らかに宣誓 (自衛官候補生男子)

### 十勝岳噴火総合防災訓練

#### 自治体と連携して災害に備える

第2師団(師団長 富樫陸将)は、2月16日及び17日の両日、美瑛町、上富良野町等において、十勝岳噴火総合防災訓練に参加した。

本訓練は、十勝岳火山防災協議会の主催で行われた訓練で、第2師団隷下部隊のほか上富良野駐屯地に所在する第4特科群及び第14施設群が、十勝岳の突発的小規模噴火及び段階的噴火における対処要領、自衛隊と自治体及び関係機関との情報共有要領、救助・救出及び生活支援等に係る調整要領等を演練した。



避難所設営



避難者の輸送

### バイアスロン日本選手権大会及び宮様スキー大会国際競技会バイアスロン競技支援

#### 伝統ある大会の運営に協力

北部方面混成団(団長 岡本1佐(当時))は、蓄積された冬季戦技に係る貴重なノウハウを生かし、2月22日から3月6日までの間、真駒内射場地区においてバイアスロン日本選手権大会及び宮様スキー大会国際競技会バイアスロン競技協力を実施した。

本協力には、第7師団、第11旅団、第1特科団、第1高射特科団、北部方面後方支援隊、北部方面通信群及び北部方面衛生隊から約120名の要員が支援し、円滑な大会運営に協力した。



射場準備



射場勤務

## 3月着任 部隊長等 紹介

**北部方面会計隊長**  
1等陸佐 浜口 剛

昭和45年生 徳島県出身  
前職 陸上総隊司令部 総務部会計課長



**北部方面混成団長**  
1等陸佐 阿部 洋一

昭和43年生 大分県出身  
前職 富士学校総務部長



**第2師団副師団長**  
陸将補 宮崎 章

昭和47年生 福岡県出身  
前職 自衛隊 札幌地方協力本部長



**北部方面總監部幕僚副長**  
陸将補 神園 雄一

昭和47年生 熊本県出身  
前職 西部方面總監部 防衛部長



**俱知安駐屯地業務隊長**  
2等陸佐 豊田 安雄

昭和44年生 兵庫県出身  
前職 第7普通科連隊 副連隊長



**帯広駐屯地業務隊長**  
1等陸佐 工藤 功介

昭和51年生 北海道出身  
前職 装備実験隊 第1実験科長



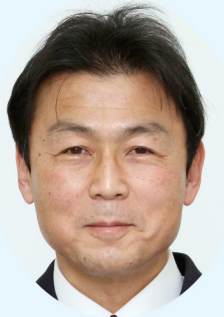
**自衛隊帯広地方協力本部長**  
1等陸佐 内山 信吾

昭和44年生 東京都出身  
前職 補給統制本部 航空部長



**自衛隊旭川地方協力本部長**  
1等陸佐 高田 博文

昭和43年生 愛媛県出身  
前職 第6師団司令部 監察官



**自衛隊札幌地方協力本部長**  
1等陸佐 佐藤 和之

昭和43年生 熊本県出身  
前職 第6師団司令部 幕僚長




**丘珠駐屯地業務隊長**  
2等陸佐 荒木 角栄

昭和47年生 大分県出身  
前職 中部方面總監部人事部 援護業務課援護班長



**美幌駐屯地業務隊長**  
2等陸佐 圓山 紀子

昭和45年生 千葉県出身  
前職 高射教導隊副隊長



**北千歳駐屯地業務隊長**  
2等陸佐 天野 道夫

昭和44年生 北海道出身  
前職 自衛隊福岡地方 協力本部福岡地区隊長



**岩見沢駐屯地業務隊長**  
2等陸佐 松平 実

昭和44年生 北海道出身  
前職 第13施設群副群長



**鹿追駐屯地業務隊長**  
2等陸佐 富原 大治

昭和45年生 北海道出身  
前職 訓練評価支援隊 評価分析班長兼評価分析官





第215回

～心の健康相談室～

人生に潤いを与える言葉

ふつい うれ
私意を憂うことなかれ、
かいしん
快心を喜ぶことなかれ。
きゅうあん たの
久安を待むことなかれ、
しよなん はばか
初難を憚ることなかれ。

(「菜根譚」前集・199)

これは、「思い通りにならないことを気にかけすぎないように、また、思い通りになったからとてむやみに喜ばないように。

いつも平穏無事であることをあてにしないように、はじめから困難だとおもって尻込みしないように」という意味です。

つまり、有為転変(ういてんぺん) (浮き沈みの激しい) この世の出来事に流されないようにということではないでしょうか。

心の健康相談・カウンセラー 根本 和雄



中村 雅臣氏
総合警備保障株式会社
社友



佐々木 勲氏
有限会社メディカルライフ
代表取締役



内間木 義勝氏
株式会社ムラタ
代表取締役社長



林 博己氏
株式会社エース
代表取締役会長



林 里紅氏
国際技建株式会社
代表取締役社長

第10期オピニオンリーダー紹介
昨年度末をもって第8期オピニオンリーダーの5名の方々が退任され、新たに第10期オピニオンリーダーとして5名の方々が新任されました。
今後第9期オピニオンリーダーの8名の方々と、我が国の防衛及び自衛隊に関する様々な意見を聴取するとともに、北部方面隊の地域一般の方々に向けた情報発信に協力いただきます。

第10期オピニオンリーダー紹介



令和4年度自衛官等採用案内



Table with 4 columns: 種目 (Category), 資格 (Qualification), 受付期間(締切日必着) (Application Period), 試験期日 (Exam Dates). Rows include 幹部候補生, 医科・歯科幹部, 技術海上幹部, 航空学生, 一般曹候補生, 自衛官候補生, 防衛大学校学生, 防衛医科大学校医学科学生, 防衛医科大学校看護学科学生, 陸上自衛隊高等工科学校生徒, 貸費学生, 予備自衛官補.



札幌地方協力本部 旭川地方協力本部 帯広地方協力本部 函館地方協力本部
011(631)5472 0166(51)6060 0155(23)5882 0138(53)6241

あかしや780号掲載予定記事
・演習場春季定期整備 ・方面隊各部隊訓練
・一般陸曹候補生前期及び自衛官候補生課程教育訓練状況
・北部方面音楽隊定期演奏会 ・募集記事 など

◇新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から試験日程が変更となる可能性があります。
◇試験日程、各種イベント及び説明会等の情報は、最寄りの自衛隊地方協力本部のHPをご確認ください。

Grid of social media links and QR codes for YouTube, Instagram, Facebook, and Twitter.

方面隊の活動は、ホームページ及び各種SNSをご覧ください。